第1号（2003年冬号）

あらき通信

あらき通信第一回　2003年　12月1日発行
（株）アラキ工務店
編集・発行　村上幸男
ホームページ
http://www.kyoto.zaq.ne.jp/araki/

京都市右京区梅津高畝町５２－２
〒615-0906 株式会社 アラキ工務店

ご 挨 拶

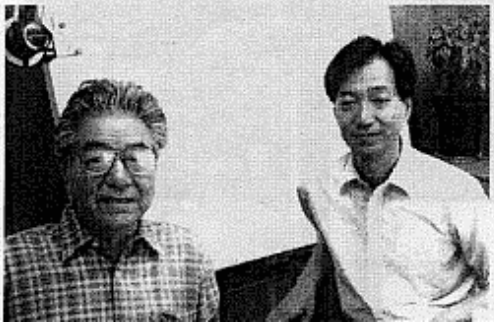
仲秋の候、ますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。日頃、弊社大工・関連業者が大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

さて、私も70歳を数え、これを契機に、後身に代表取締役を引き継ぐことにいたしました。

大正14年、私の父　勇治が創業し、今年で78年を迎える事ができました。これもひとえに、数多くのお施っさんに恵まれた賜物と、感謝の思いでいっぱいです。これからもよろしくお願いいたします。

取締役会長 荒木 正亘

父　正亘も、退任したとはいえ、会長職として今まで以上に職人の指導にあたる所存です。私は、建築業界で、まだ4年たらずと未熟ではありますが、今後も、従業員一同研鑽に励み、「棚板一枚から」をモットーに、少しでも喜んでいただけるよう精一杯努力する所存です。



本来ならば、拝眉の上ご挨拶を申し上げるべきところ、略儀ながら書中をもってご挨拶申し上げます。

代表取締役 荒木　勇

今、こんな仕事をやっています

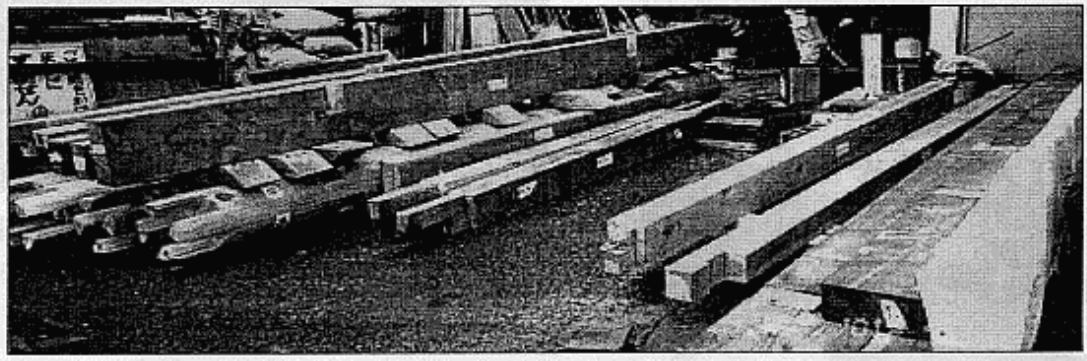
「あらきさんって、今どんな事をやっているのかしら？」という素朴な疑問にお答えします。

古民家の改修

--- 大変申し訳ありません ---

アラキ工務店では京大防災研究所の地震実験で使用する、構造試験体の製作をしています。実物の構造体に、負荷をかけて、地震発生装置にて振動を与えて、その変形角度を測定します。

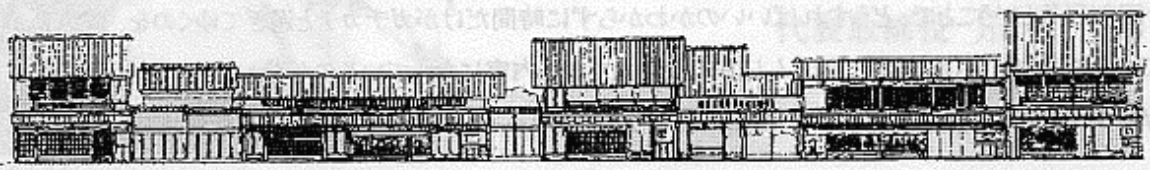
我々も時々、公開実験があるときには、見学に行きます。かなりのユレや振動で構造体(柱や梁、等)が動くのを見ると、つい心の中で「しっかいふんばれ、倒れるなよ！」と思ってしまい、手に力が入り、じっとみつめてしまいます。自分の子どもががんばっているように思えてしまう私です。(村上)



町家を守る取組

私共では、京都の伝統的な町家を現在の生活に合うように、構造体のイタミを改修し、内部を修繕し、あるいは新しい設備を組み込み、再び住まいとして使用できる家にしたいと願い、すでに何棟も実践しています。また、このことを多くの人に理解していただくためにために、いろいろな運動をしています。京町家再生研に参加し、京町家作事組では副理事長として、実際の工事にたずさわり、古材バンクにも役員として入っております。

またその他、テレビ出演やいろいろなメディア、新聞、雑誌などで、町家のもっている多機能性や、長い歴史の中で洗練された空間など、今の建築にも、お手本となるところも紹介しています。まだまだこれからですが、この通信でも随時お知らせしたいと思います。



お施っさんに一言

うちの職人さんがお世話になったお施っさんに近況を報告します。

今、福知山で荒壁の家をやっています。遠方なので大変です。

森脇利夫

怪我したときはいろいろ心配かけました。今、上京で明治13年に建てられた町家の改修をしています。

秋田茂喜

仕事
休みの時は海づりに行ってます
この前はシーダガツオをつりました

松本正

ごぶさたしています
今年で40才になってしまいました。
子供は13才、9才、6才とたいへんですが楽しい毎日です

足達宗凡

西川敏雄
1才の子供がいます。

心のこりのはびきのはいつ行けるのかなて

築山史典

2人目の子供が1月に生れますたのしみです。

牛田秀樹

松本照明

最近、ウェイクボードにハマってます。

毎朝、邦夫さんに
からまれてます。

中村泰彰

いい仕事ができるよう
頑張っております。

冨永直史

今2年目でまだまだこれからですが
がんばりますのでヨロシク
おねがいします

西垣 勝矢

黒川 暢聡

4月に京都に来て
半年が経ってやっと京都
にもなれて来ました。
早く一人前になるよう
ガンバリマス!!

はじめまして！最近入社しまし
たが、1日も早くみな様と現場
でお会い出来る事を楽しみ
にしています。

米沢 和也

皆で力を合せて仕事を
しています。
これからも宜しくお願いします。

村上幸男

娘が1才9ヶ月になりました。
かたことの言葉をしゃべりますが、
まだまだ何を言ってるかわからず
すぐに「わーわー」と、ないてしまいます。
意味がわかるのはいつのことやら

あらき さとし

まだ京都にきて3年半ですが、
子供がすっかり京都弁になりま
した。（小5と小3）
今回みんなに一言ずつ書いてもらい
ましたがいかがでしょうか

荒木 勇

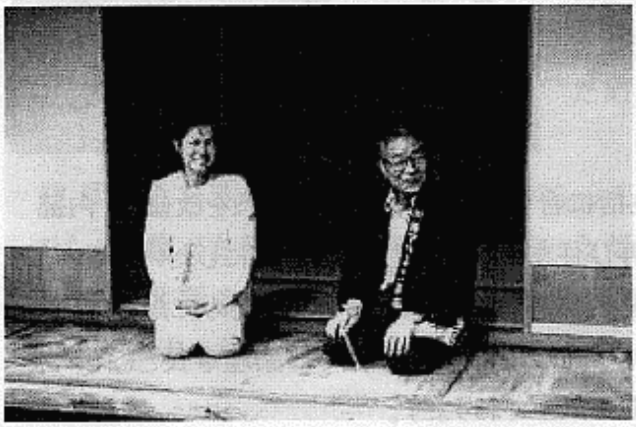
ご連絡！

① 事務員さんが交代します！

長い間、弊社に勤務いただいた池本さんが、定年を迎えご実家に帰られることになりました。皆さん本当にお世話になりました。

後任には、樋口が担当することになりました。まだまだ、お施っさんの声が覚えられず、失礼もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

② 「住まいと文化」第9回　沖縄竹富島編の放映が決定しました。



出演：白井貴子（ミュージシャン）
荒木正亘（京町家作事組）

放映日がまだ決まっておりません。
年賀状でお知らせします。

編集後記

今回創刊号ということで、どうすればいいのかわからずに時間だけがカチカチと過ぎてゆくのを、皆が見かねて、私に協力してくれました。皆さんに読んでいただける内容になっているのかな～。独り善がりになっていないか心配です。私の計画では年四回は発行したいと思っていますが・・・何とかガンバリマス。

（村上）